

## 平成26年台風19号洪水における早明浦ダム、富郷ダム、柳瀬ダムの洪水貯留効果について

平成26年台風19号による10月12日18時からの流域平均総雨量は、早明浦上流域で約317mm、銅山川流域で約281mm、吉野川上流域では約263mmを記録しました。（10月14日13時現在）

この降雨による洪水に対し、早明浦ダム、富郷ダム、柳瀬ダムは洪水貯留を行い、下流の被害軽減に努めました。

	最大流入量	最大流入量観測時間	最大流入時放流量	最大流入時調節量
早明浦ダム	毎秒約2,417立方メートル	10月13日17時00分	毎秒約1,205立方メートル	毎秒約1,212立方メートル
富郷ダム	毎秒約501立方メートル	10月13日16時30分	毎秒約457立方メートル	毎秒約44立方メートル
柳瀬ダム	毎秒約855立方メートル	10月13日17時10分	毎秒約852立方メートル	毎秒約3立方メートル

もしダムが整備されていなければ、早明浦ダム下流の本山橋（本山町）地点で1.70m、また三好大橋（三好市井川町）地点で1.01m水位が上昇していたと想定されます。

※本資料における数値は現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

平成 26 年 10 月 15 日

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所  
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

～大自然の恵みをくらしに活かす～  
柳瀬ダム管理60周年

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

事業対策官 白川 勝 （内線208）

○管理課長 大谷 忠夫 （内線331）  
（TEL）0883-72-3000

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

第一管理課長 杉浦 友宣 （内線331）  
（TEL）0883-72-2050

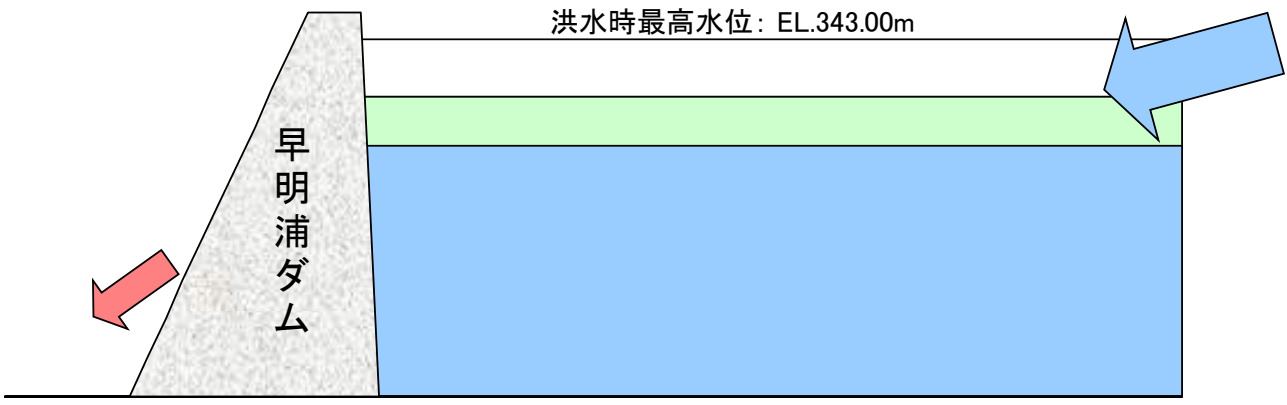
○主な問い合わせ先

# 平成26年台風19号の早明浦ダムにおける洪水貯留効果

② 最大流入時の放流量  
 毎秒約1,205 立方メートル  
 (平成26年10月13日17時00分観測)

①-② ダムで貯めた量  
 毎秒約1,212 立方メートル

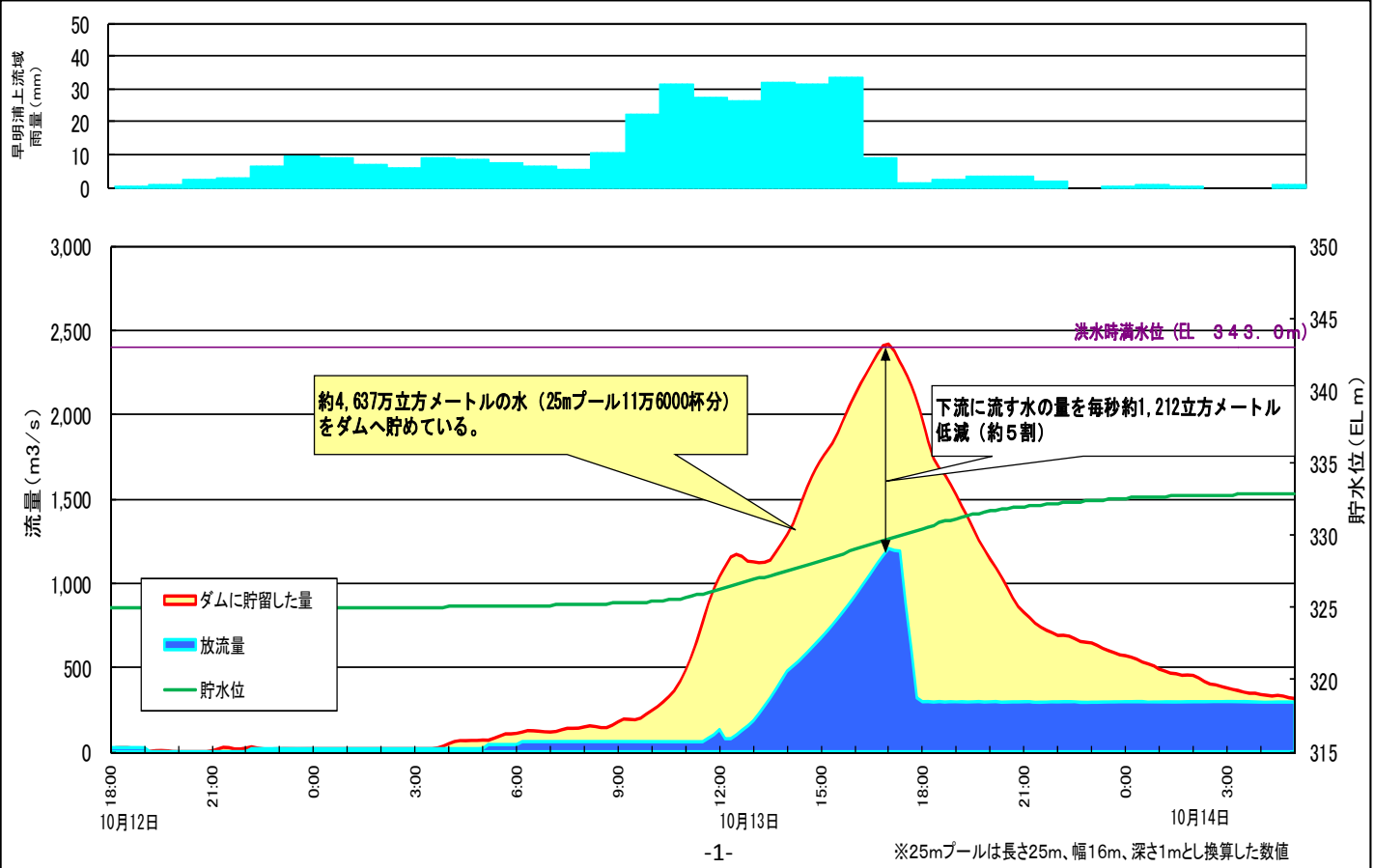
① 最大流入量  
 毎秒約2,417 立方メートル  
 (平成26年10月13日17時00分観測)



④ 洪水前のダム貯水位  
 EL. 326.05 m  
 (平成26年10月13日11時40分観測)

③-④ ダム水位上昇量  
 6.77 m上昇

③ 現在のダム貯水位  
 EL. 332.82 m  
 (平成26年10月14日5時20分観測)

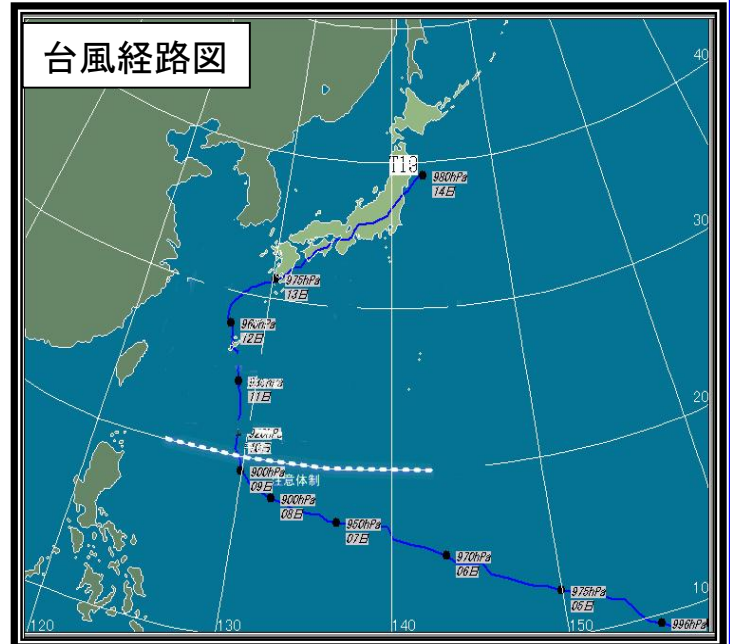


## 治水事業の効果

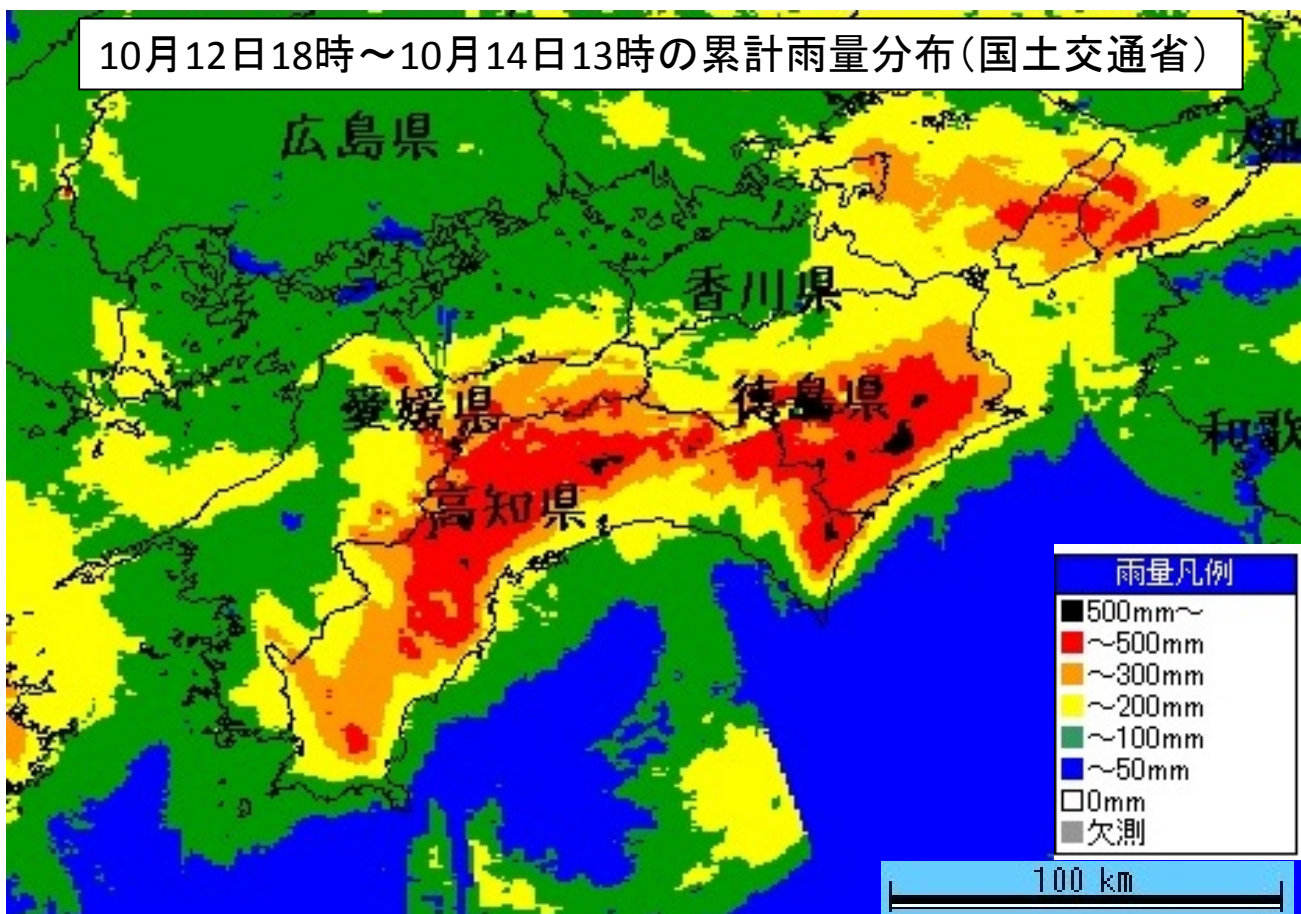
～平成26年10月13日 台風19号による大雨における事例～

○大型の台風19号は13日、鹿児島県に上陸して九州、四国を通過しました。

○台風の影響により、10月12日18時から10月14日13時までの流域平均総雨量は、早明浦上流域で約317mm、銅山川流域で約281mm、また吉野川上流域では約263mmを記録しました。



10月12日18時～10月14日13時の累計雨量分布(国土交通省)

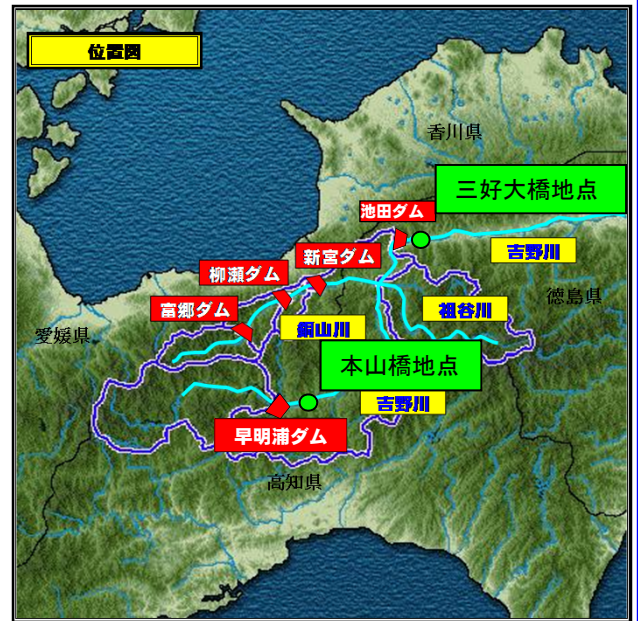




## ダムが効果を発揮(早明浦ダム他)

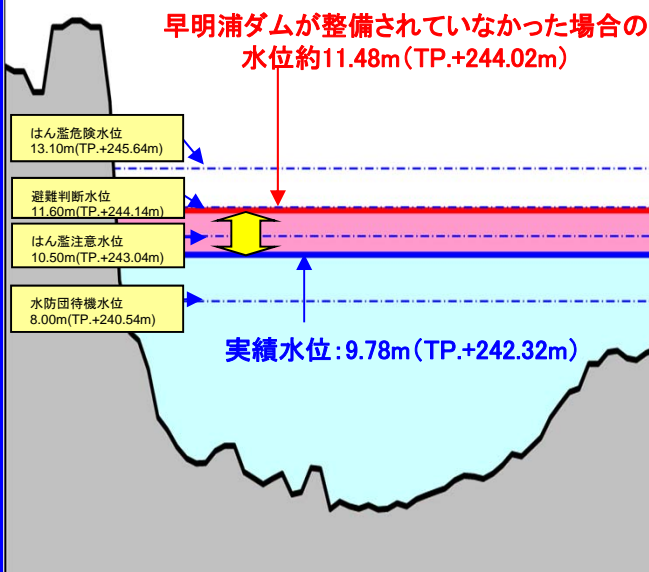
早明浦ダムで貯留した結果、早明浦ダム下流本山橋付近の水位を **1.70m低下** させる効果があり、仮にダムが整備されていなかった場合、はん濫注意水位を大きく超過していたと推定されます。

また、吉野川上流ダム群で貯留した結果、池田ダム下流の三好大橋付近の水位を **1.01m低下** させる効果があり、仮にダムが整備されていなかった場合、はん濫危険水位を超過していたと推定されます。



### 約1.70mの水位低減効果(推定)

高知県本山町本山橋付近



### 約1.01mの水位低減効果(推定)

徳島県三好市井川町三好大橋付近

